

情報公開文書

第1.0版 2023年10月20日 作成

京都大学医学部附属病院・京都大学大学院医学研究科では、病気の診断や治療の向上を目指して、実際に診療を受けられた方の臨床情報を元に種々の研究を行っています。以下にその概要を記しますので、ご理解の程お願いいたします。

- (1) 研究の名称: Deep Learning Reconstruction (DLR) 技術を用いた低画質MRIの高画質化の研究
- (2) 倫理審査と許可: 本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
- (3) 研究機関の名称、研究責任者の氏名: 京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座 (画像診断学・核医学)、中本裕士
- (4) 研究の目的・意義: 本研究の目的は、時間短縮して撮像した低画質のMRI画像をAiCEやPIQEなどのDeep learningを用いて設計した新しい画像再構成技術を用いることにより高画質化し、従来法と比較して診断能を評価することです。MRIによる撮像時間の短縮により、患者さんの負担軽減につながると考えられます。
- (5) 研究実施期間: 研究機関の長の実施許可日から2028年9月30日まで
- (6) 対象となる試料・情報の取得期間: 京都大学医学部附属病院放射線部において、2022年7月1日から2023年8月31日までに頭部を対象として時間短縮をして撮像した低解像度の拡散強調像や微少出血を検出するためのFlow Sensitive Black Blood (FSBB)法を撮像された患者さん。
- (7) 試料・情報の利用目的・利用方法
MRI画像を抽出・ID化(個人情報 を消去)して画像処理を行います。他の機関への提供は行いません。
- (8) 利用または提供する試料・情報の項目
MRI画像および撮像条件

性別、年齢、身長・体重、既往歴、生活歴、家族歴、採血データ、過去の治療歴などの診療情報

- (9) 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

本研究は京都大学医学研究科において実施します。自機関のみ実施する研究であり、共同研究機関はありません。

研究責任者 京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座(画像診断学・核医学) 教授 中本 裕士

- (10) 試料・情報の管理について責任を有する者の所属・職位・氏名

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座(画像診断学・核医学) 特定助教 奥知 左智

- (11) 研究対象とならないことを希望する際にはご自身もしくは代理人の方が当科に連絡をすれば、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。

- (12) 他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内において、研究計画書および研究の方法に関する資料の入手・閲覧が可能です。(14)の窓口にお問い合わせください。

- (13) 研究資金・利益相反:この研究は、公益財団法人京都大学教育研究振興財団の研究活動推進助成あるいは運営費交付金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査されています。

- (14) 研究対象者からの相談への対応・窓口:

- 1) 研究課題ごとの相談窓口

〒606-8507

京都市左京区聖護院川原町54

放射線診断科窓口(担当:奥知左智)

電話:075-751-3760

E-mail:diag_rad@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2) 京都大学の相談等窓口

京都大学医学部附属病院臨床研究相談窓口

電話: 075-751-4748

E-mail: ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp